

《資料編》

【「わらくつの中の神様」の目標及び評価規準】

目標	「わらくつの中の神様」から読み取ったことを基に、メモの書き方や生かし方を工夫するとともに、適切な言葉遣いに注意しながら聞き手に分かりやすいスピーチをする。		
評価規準	(国語に対する関心・意欲・態度)	(話すこと・聞くこと)	(国語に関する知識・理解・技能)
	自分の伝えたい事柄や気持ち聞き手に分かるよう、メモの書き方や生かし方を工夫してスピーチしている。	自分の話の意図や内容聞き手に分かるようにメモの書き方や生かし方を工夫して話したり、その効果を考えながら聞いたりしている。	聞き手の方を見ることや、適切な言葉遣いに注意して、話したり聞いたりしている。

【指導計画(全6時間)】

過程	主な学習活動	時間	学習への支援	評価規準		
				国語への関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	言語についての知識・理解・技能
	<p>話す力を高めていくことへの意欲をもつ。</p> <p>学習のめあてを知る。</p> <p>本文を読んで得た内容を基に、おみつさんが、雪げたを買ってもらおうと両親に話すスピーチを行う。</p>	1	<p>・話すことへの不安をやわらげ、少しずつ話す力を高めていけるよう、教師自ら例示スピーチを行う。</p> <p>・学習のめあてがもてるよう、スピーチの課題をいくつかを示す。</p> <p>・読めない漢字や意味の分からない言葉を確認できるように、範読をする。</p> <p>・分からない言葉の意味を理解できるように、「言葉プリント」を活用する。</p> <p>・スピーチに必要な物語の内容を短時間でとらえられるよう、学習プリントを用いる。</p> <p>・課題に合ったメモが作れるよう、課題に関する叙述の部分に着目する支援する。</p>	<p>自分の考えや意図が分かるように、話の中心を明確にして正しい言葉を用いて、おみつさんの両親になりきってメモを作成しようとしている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度) ・効果的な話の組立てに着目している。</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・話し方、聞き方、話す目的を確認できるように、問いかけをする。</p>	<p>自分の考えや意図が分かるように、話の中心を明確にして正しい言葉を用いて、おみつさんの両親になりきってメモを作成している。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・効果的な話の組立てを考えながら ・メモに話の要点を短くまとめる</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・話の内容を見つけられるよう、学習プリントを見直すように声かけをする。 ・話の中心を一つ決めるように助言する。</p>	<p>自分の考えや意図が分かるように、構成を工夫して、おみつさんの両親になりきってメモを作成している。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・効果的な構成で</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・メモの構成の仕方に気付くよう、メモ作成時に机間指導を行い、声かけをする。</p>
見直し1	<p>おみつさんが、雪げたを買ってもらおうと両親に話すモデルスピーチ、を比べ、分かりやすさの原因を考える。</p> <p>モデルスピーチの分かりやすさの原因をメモの書き方から考える。</p> <p>分かりやすいスピーチをするための大切な観点を整理する。</p>	1	<p>・分かりやすいスピーチをするための観点到に気付くことができるよう、二つの対照的なスピーチ(モデルスピーチ、)を視聴し、それを比べたり、メモを見比べたりする活動を行う。</p> <p>・分かりやすさの原因を明確にできるよう、「スピーチ名人カード」に整理する。</p>	<p>モデルスピーチやそのメモから気付いたことを、おみつさんの両親になりきって自分なりにワークシートにまとめている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度) ・多様な観点からまとめている。</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・活動の意欲化を図れるよう、一つでも気付いたことを多くの児童に知らせる。</p>	<p>分かりやすいスピーチをするためのメモの書き方や生かし方をおみつさんの両親になりきって書き出している。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・メモの書き方と生かし方とを関連づけながら</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・モデルスピーチのほうに分かりやすいことに気付けるよう、モデルスピーチとの違いに着眼するよう助言する。</p>	<p>声の大きさや速さ、間の取り方など、適切な言葉遣いにおみつさんの両親になりきって気付いている。</p> <p>(十分満足とするキーワード) ・具体的に記述したり、発表したりしている。</p> <p>(努力を要する状況)への方策 ・モデルスピーチの分かりやすい理由を考えられるよう、声の大きさなど具体的な観点を助言する。</p>

見 通 し 2	<p>おみつさんが、自分で作ったわらくつを買ってもらおうとお客さんに話すスピーチのメモを作成する。メモをもとにスピーチを聞き合う。</p>	<p>・主体的に学習に取り組めるよう、各自のメモづくりや練習スピーチを支援する。</p> <p>・話し手が自らのスピーチを評価することができるよう、聞き手はスピーチで効果があった観点を、話し手に伝えるよう助言する。</p> <p>・より分かりやすく話すためのメモの改善点を考えられるよう、聞き手からの評価を基に、自分のメモを見直すように声かけをする。</p>	<p>キーワードでメモを書き、聞き手を見ながらおみつさんになりきって話そうとしている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の観点を取捨選択して取り入れている。 <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心理的な負担を軽減できるよう、3～4人のグループでスピーチする。 ・スピーチの評価を効果的に行えるよう、児童が聞き合う活動において、教師も積極的に認め励ます。 	<p>キーワードでメモを作成し、おみつさんになりきって聞き手を見ながら話している。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の観点も積極的に取り入れて <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモに書くキーワードの手がかりとなるよう、友達の考えたキーワードを黒板に例示する。 ・メモ作りの効率化が図れるよう、「はじめ」と「終わり」をあらかじめ示してあるメモ用紙を活用する。 	<p>声の大きさや速さ、間の取り方など、適切な言葉遣いを考えておみつさんになりきって話したり、マサエになりきって聞いたりしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な間の取り方など適切な言葉遣いを考えて <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な言葉遣いの手がかりとなるよう、友達の考えをいくつか例示として提示する。 ・自分の声の大きさや速さの適切さを直せるよう、録音機器などを活用するように助言する。
見 通 し 2	<p>雪げたが、きれいなまま棚の上にいるわけをマサエに話すスピーチのメモを作成する。</p> <p>メモを基にスピーチを聞き合う。</p>	<p>・結論の内容や位置を工夫することの効果に気付くことができるよう、例示する。</p> <p>・主体的に学習に取り組めるよう、メモづくりや練習スピーチを支援する。</p> <p>・分かりやすいスピーチの観点が身に付いたかどうかを確かめることができるよう、スピーチを聞き合い、評価し合う活動を支援する。</p>	<p>結論の内容や位置を工夫しながら、雪げたになりきって話そうとしている。</p> <p>(十分満足とする状況・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチで不十分だった観点や新たな観点を、たくさん取り入れている。 <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の課題が明確になるよう「スピーチ名人カード」を確認するように助言を行う。 ・スピーチの評価を効果的に行えるよう、児童が聞き合う活動において、教師も積極的に認め励ます。 	<p>前回のスピーチでの学習事項に加え、結論の内容や位置を工夫し、雪げたになりきってスピーチしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモの生かし方の観点を効果的に取り入れて <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモの書き方や生かし方の観点を明確に意識できるよう、具体的に助言する。 ・メモに書くキーワードの手がかりとなるよう、友達の考えたキーワードを黒板に例示する。 	<p>声の大きさや速さ、間の取り方など、適切な言葉遣いを考えて雪げたになりきって話したり、マサエになりきって聞いたりしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な間の取り方など適切な言葉遣いを考えて <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な言葉遣いの手がかりとなるよう、友達の考えをいくつか例示として提示する。 ・自分の声の大きさや速さの適切さを直せるよう、録音機器などを活用するように助言する。
見 通 し 3	<p>スピーチ～のメモと「スピーチ名人カード」を基に、自分や友達のスピーチの進歩を認め合う。</p> <p>大工さんが、およめさんになってほしいとおみつさんに話すスピーチを構想し、聞き合う。</p>	<p>・互いの表現力の高まりを自覚し、自己肯定感を持つことができるよう、スピーチ～のメモと「スピーチ名人カード」が一目で見られるよう、一枚の紙に貼る。</p> <p>・自分なりに一番よいと思えるスピーチができるよう、練習時間を確保したり、メモの書き方や生かし方を具体的に助言したりしていくことで支援を行う。</p>	<p>自分のスピーチをより分かりやすくするために大工さんになりきってメモの書き方や生かし方を工夫している。</p> <p>(十分満足とする状況・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモに修正を加えつつ、工夫の効果を何度も確かめながら、繰り返し練習をしている。 <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の意欲化が図れるよう、個々の児童の今までの取組の様子や表現力の向上を具体的に認め励ます。 	<p>今までに学習してきた「分かりやすいスピーチをするための観点」を取り入れ、大工さんになりきって分かりやすいスピーチをしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的なメモの生かし方(声の大きさや速さ、間、身振りなど)をして ・目的や相手、場になかったメモの書き方で <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすいスピーチの観点に気付くよう、児童の取組の様子を見取り、個の状況に応じて聞き役となったり、助言を行ったりする。 ・自分のスピーチを客観的に見直せるよう、ビデオなどの機器も活用する。 	<p>声の大きさや速さや間など適切な言葉遣いに注意し、大工さんになりきって話したり、おみつさんになりきって聞いたりしている。</p> <p>(十分満足とするキーワード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の目的や相手、場になかった言葉遣いで ・聞き手に聞きやすい声の大きさや速さで ・効果的な間の取り方で <p>(努力を要する状況)への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な言葉遣いに注意して話せるよう、個の状況に応じて、「どこで、どのように間を取るのか」等、具体的に助言する。 ・自分の声の大きさや速さの適切さを直せるよう、録音機器などを活用するように助言する。